

食と緑の

西三河地域レポート 2021

— 食と緑が支える豊かな暮らしをめざして —

(2020年度の実績報告)



2021年7月

目 次

I	レポート作成の趣旨	1
	(25の中項目)	
II	取組と基本目標の実現への重点的取組事例	2
1	競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保	2
(1)	あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上	2
ア	幅広い分野の先端技術等を活用した技術の開発と普及	2
イ	幅広い需要に応える戦略的な品種の開発と普及	2
(2)	マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大	3
ア	多様なニーズに対応した生産・流通面の改善	3
イ	県内外に向けた戦略的な需要の拡大	3
ウ	農林水産物等の輸出の促進	4
(3)	意欲ある担い手が活躍できる農業の実現	4
ア	多様な担い手の確保・育成	4
イ	優良農地の確保と集積・集約化の推進	4
ウ	農業生産基盤整備等の推進	5
(4)	資源を生かす林業の実現	6
ア	木材の安定供給	6
イ	生産を担う人材の確保・育成	6
ウ	林業生産基盤の充実	6
(5)	持続可能で活力ある水産業の実現	7
ア	漁業生産基盤の機能強化	7
イ	持続的な漁業生産の確保	7
ウ	活力ある担い手の確保・育成	7
(6)	食料の安全・安心の確保と環境への配慮	8
ア	食品の安全・安心の確保に向けた取組の強化	8
イ	環境に配慮した取組の推進	8
2	農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践	9
(1)	農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	9
ア	農林水産業の関心と理解を深める取組の推進	9
イ	幅広い世代に対する農林水産業体験の機会の提供	9
(2)	食育の推進による健全な食生活の実践	9
ア	若い世代を中心とした生涯にわたる食育の推進	9
イ	食を通じた県産農林水産物や環境への理解と食文化の継承	9
3	自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり	10
(1)	災害に強く安全で快適な生活環境の確保	10
ア	農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策の推進	10

- イ 快適な生活環境の確保 10
- (2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮 11
 - ア 多面的機能を適切に発揮させる森林・農地・漁場の保全・整備 11
 - イ 地域で取り組む森林・農地・漁場の保全活動の推進 11
- (3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり 12
 - ア 地域の特性を生かした農山漁村の活性化 12

(2つの重点プロジェクト)

Ⅲ 西三河地域重点プロジェクト

- 1 西三河地域産地活性化・担い手確保育成プロジェクト 13
- 2 西三河農山漁村地域の防災・減災対策プロジェクト 16

「食と緑の基本計画 2020 西三河地域推進プラン」の取組目標に対する達成状況 18

表紙 写真の説明



水稻「愛ひとつぶ(品種名なつきらり)」
の収穫(西尾市)



経営体育成基盤整備事業 西幡地区
農道トンネル補修工事(西尾市)



砕石を利用した貝類増殖場(西尾市地先)



集材専用機械のフォワーダ(岡崎市)

I レポート作成の趣旨

愛知県は、「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」に基づき、その理念を実現するための基本計画として、令和2年度を目標年度とする「食と緑の基本計画2020」を平成28年3月に策定・公表しました。

西三河農林水産事務所では、「食と緑の基本計画2020」に即し、地域の特色や実情を踏まえた重点的な取組目標と、その達成のための令和2年度までの主な取組事項を定めた実践計画を「食と緑の基本計画2020西三河地域推進プラン」として平成28年3月に策定し、各取組を推進しました。

このレポートは、計画の進行管理の一環として西三河地域推進プランに掲げる18の取組目標を達成するために取組んだ事例等を紹介し、総括するための参考資料として、2020年度の取組を中心に取りまとめたものです。

「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」の基本理念

- 将来にわたって安全で良質な食料等の安定的な供給が確保され、かつ、その適切な消費及び利用が行われること。
- 将来にわたって森林等の有する多面的機能が適切かつ十分に発揮されることにより、安全で良好な県民の生活環境が確保されること。



II 取組と基本目標の実現への重点的取組事例

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

ア 幅広い分野の先端技術等を活用した技術の開発と普及

「あいち型産地パワーアップ事業」を活用して、碧南市のトマト、幸田町及び西尾市のいちご、西尾市のきゅうりの4産地・3品目について、施設園芸の高度化を支援しました。

具体的には、トマト選果機の選別カメラ・制御パソコン等の改修、いちごのハウス新設、環境モニタリング装置、炭酸ガス発生装置及び高設栽培施設の導入、高機能被覆資材への張替、きゅうりの統合環境制御装置、ミスト装置の導入を行いました。あいち型植物工場としての機能向上を図ることにより産地の生産力強化を支援しています。

また、JA西三河きゅうり部会は、国の「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」を活用し、「日本をリードする施設きゅうりスマート農業実証コンソーシアム」により、「ICTに基づく養液栽培から販売による施設きゅうりのデータ駆動経営一貫体系の実証」に取り組んでいます。



環境モニタリング装置

イ 幅広い需要に応える戦略的な品種の開発と普及

農業総合試験場が開発した水稻「愛ひとつぶ（品種名なつきらり）」、パン、中華めん用小麦「ゆめあかり」の普及を進めるため、展示ほを設け栽培技術の確立を図りました。

「愛ひとつぶ」の令和2年度栽培農家は22戸、面積は23haで、土壌診断に基づいた施肥と適期収穫に取り組んでいます。食味品質基準を達成した「愛ひとつぶ」は新たなブランド米として販売が始まり、良食味米として消費者に届けられています。「ゆめあかり」の令和2年産の栽培面積は806haと拡大しており、専用肥料を用いたタンパク質含量の適正化に取り組んでいます。

管内には鉢物農家が179戸あり、鉢花、観葉植物、洋ラン、苗物の4部門で多種多様な鉢物が生産されています。

オリジナル商品の開発支援を行い、令和2年度に5件が開発され、平成28年度から累計で24件の新商品が開発されました。新商品のうち、アンスリウム、チランジア、ヤマアジサイの3種4品目で品種登録申請が行われ、累計で12件の登録申請ができました。



水稻「愛ひとつぶ」の収穫



品種登録出願のアンスリウム（紅かんざし）

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

ア 多様なニーズに対応した生産・流通面の改善

農林水産物の体験農園、農家レストラン、直売所などの複合型観光農園の開園を目指す管内の農林漁業者1名に対し、愛知県6次産業化サポートセンターのプランナーとともに相談、支援を行いました。現状認識している課題を整理し、改善の方向性・取組案を提示するなど、具体的なアドバイスをを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として営農の継続及び発展に資する緊急的な取組を支援する農作業省力化設備緊急整備事業が実施され、西尾市のいちご3戸・きゅうり2戸、碧南市の露地野菜3戸及び輪ギク(JA)が農業機械等の導入、ハウスの新設や改修を行い農作業の省力化を図りました。



プランナーによる支援を受けた
(株)山田農園(岡崎市)



農作業省力化設備緊急整備事業で
導入された輪ギク選別機

イ 県内外に向けた戦略的な需要の拡大

産出額日本一を誇る愛知県の花のPRを目的に、「あいち花マルシェ2020」が令和2年11月20～23日に安城産業文化公園デンパーク(安城市)で開催され、県産花きを用いたディスプレイ展示や体験講座、花き販売により花への親しみを喚起しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、花きの需要減退、価格下落が続いていることから、花き農家を応援するため、フラワーウォーク*を令和2年度に3回実施しました。

また、公共施設等における花きの活用拡大支援事業を利用して西三河総合庁舎1階に季節に合わせたテーマで、地元産花きを中心に7回展示しました。



「あいち花マルシェ2020」の展示

〈西三河庁舎の展示内容〉

展示テーマ	展示期間
① 重陽の節句	9月 2日 ~ 9月 9日
② ハロウィン	10月 23日 ~ 10月 30日
③ あいち花マルシェ	11月 13日 ~ 11月 20日
④ クリスマス	12月 18日 ~ 12月 25日
⑤ 正月	1月 4日 ~ 1月 12日
⑥ フラワーバレンタイン	2月 5日 ~ 2月 12日
⑦ ホワイトデー	3月 5日 ~ 3月 12日



西三河総合庁舎の花き展示
展示テーマ「正月」

*フラワーウォーク…花束や鉢花等を持って歩くことで花きの魅力をPRする活動

ウ 農林水産物等の輸出の促進

「農畜産物輸出拡大施設整備事業」を活用して、西尾市の株式会社愛てんが有機てん茶専用仕上げ加工ラインを整備する支援を行いました。

県内外の茶農家とも連携して、海外からのニーズにも対応できる広域輸出体制を進めており、輸出向け出荷額及び輸出先国の増加を目標にしています。



有機てん茶専用仕上げ加工ライン

(3) 意欲ある担い手が活躍できる農業の実現

ア 多様な担い手の確保・育成

就農相談の窓口として、農業改良普及課に「農起業支援センター」を設置し、作目選定から就農までの一連の支援を行っています。就農相談者は62人で、延べ117回の相談に対応しました。7名の就農計画の作成を支援し、新規就農者は33人となりました。

就農希望者に対して、経営・栽培技術の伝授、就農後の助言等を行う研修受け入れ農家4戸2組織に対して、研修実施計画の作成を支援し、受入体制を強化しました。

担い手の育成については、就農2年以内の農業者49人を対象に、集合研修、個別指導を実施し、早期経営安定を支援しました。

さらに、産地戦略に基づきJA、市町と連携し、いちごスクールなどで新規参入者の確保育成を支援しました。



新規栽培者の現地巡回

イ 優良農地の確保と集積・集約化の推進

集落・地域の話合いにより、今後の地域の中心となる担い手の確保状況や地域のあり方等を定める「人・農地プラン」は、管内の全市町で令和2年度末までに実質化がされました。

また、農業の生産コストを削減し競争力を強化するため、農地中間管理事業等を活用して、市町、農協など関係機関と連携して、担い手への農地の集積・集約化を進めています。

管内では、農地中間管理事業の制度開始以来7年間で全市町において貸付を行っており、令和2年度の貸付実績は安城市、西尾市、岡崎市などで計約1,017haとなり、平成26年度からの累計で9,374haの農地が集積されました。



集約化された農地（西尾市）

ウ 農業生産基盤整備等の推進

担い手農家への農地集積・集約化や、生産コストの削減を推進するため、農地の大区画化や汎用化を図る整備や土地改良施設の老朽化対策（更新整備）を推進しています。

農地の大区画化やパイプライン化等を行った「経営体育成基盤整備事業」の島坂地区（岡崎市・安城市）が完了しました。

また、老朽化した農業用管水路の更新を行った「水質保全対策事業」将監2期地区（西尾市）、排水機場設備の整備を行った「排水施設保全対策事業」東実録第1地区（西尾市）が完了しました。

これら3地区の受益面積は合計678haで、平成28年度からの累計では4,340haとなりました。



大区画に再整備されたほ場
島坂地区（岡崎市・安城市）



管更生工法にて更新される水路
将監2期地区（西尾市）

(4) 資源を生かす林業の実現

ア 木材の安定供給

効率的な森林施業を実施していくために、一体的なまとまりのある事業地となるよう、森林組合や民間林業事業者による森林経営計画の策定を引き続き推進し、新たに2地区、約200haが新規認定されました。

加えて、平成31年度に施行された森林経営管理法に基づき、岡崎市が森林所有者の意向を確認した上で経営管理の委託を受け、林業経営に適した森林を事業者体に再委託し、適さない森林は市が管理を行うという「森林経営管理制度」に取り組むこととなりました。

市が仲介役となることで、林業経営意欲が持てずにいる森林所有者と、事業地確保を課題とする事業者をつなぐことができ、新たな森林施業地が確保されました(木下地区)。

また、岡崎森林組合が新しい木材の生産の実証(伐採木を簡単に架線集材できる人工支柱を装備した高性能林業機械(タワーヤーダ)を用いたもの)に取り組み、これを施業指導しました。

こうした施業の集約化などの取組により、令和2年の木材生産量は、7,594m³となりました。



経営管理制度説明会(木下地区)



タワーヤーダによる実証事業

イ 生産を担う人材の確保・育成

県内農林高校生(主に安城農林高校生)に対し、高性能林業機械の操作体験シミュレーターやツリークライミング体験などの出張授業を行うことにより、林業の魅力を発信し、林業・木材関連企業への就業に繋がりました。

また、林業事業者の育成・強化を図るため、管内の1民間事業者を認定事業主として新規に認定するとともに、管内の林業事業者に対して、「林業・木材製造業労働災害防止協会愛知県支部」等が主催する特別教育や育成研修等の受講を働きかけ、作業員のスキルアップを図りました。



安城農林高校での出張授業

ウ 林業生産基盤の充実

計画的で効率的な森林施業を進めるため、林道開設(延長402m)、及び作業道の開設(延長1,407m)等により林内路網を整備し、林業生産基盤の充実を図りました。



森林作業道(岡崎市東河原町)

(5) 持続可能で活力ある水産業の実現

ア 漁業生産基盤の機能強化

あさり等水産生物の浅場漁場の整備を図るため、西尾市地先において「あさりとさかな漁場総合整備事業」によって干潟・浅場造成を実施しました。

また、管内の漁港整備のため、「漁港漁場機能高度化統合事業」によって、漁港施設長寿命化のための詳細設計を実施しました。



干潟・浅場造成工事

イ 持続的な漁業生産の確保

西三河の主要漁獲物であるあさり種苗の適正放流と資源管理について、指導をしました。

また、栽培漁業センターで生産される、あわび等の6魚種について種苗放流を効果的に進め、水産資源の維持増大を図るよう指導しました。



漏斗とホースを使ってなまこ種苗を海底に放流

〈6魚種〉

種 苗	くるまえばい、がざみ、よしえび、とらふぐ、あわび、なまこ
-----	------------------------------

ウ 活力ある担い手の確保・育成

若手の漁業者で組織されている西三河地区漁協青年部連絡協議会、中核漁業者で構成される西三河地区漁業士協議会、更に業種別の試験研究組織であるあさり研究会やのり研究会の調査や研修等の指導を通じて、意欲的に漁業に取り組む活力ある担い手の指導・育成を図りました。

(取組内容)

- ・常滑市小鈴谷漁協において、最新鋭ののり加工機械について視察研修
- ・魚食普及やあさり、ばかがい等の資源管理技術の指導
- ・各研究会による調査・試験指導



小鈴谷漁協視察研修

(6) 食料の安全・安心の確保と環境への配慮

ア 食品の安全・安心の確保に向けた取組の強化

C S F (豚熱) が、令和元年6月、11月に管内で発生しました。小売店等で県産豚肉関係の不適切表示がなされていないか確認し、風評被害が発生しないよう正しい食品知識をPRし、消費拡大に向けた取組を実施しました。

関連事業者を対象とした食品表示の監視・指導を85件実施し、食品表示の適正化を図りました。

また、食品表示研修会を開催し、食品表示基準に基づいた食品表示ルールを事業者に周知しました。

〈研修会の開催状況〉

開催日	開催場所	参加人数
R2. 11. 13	岡崎市額田センター	13人
R2. 11. 20	碧南市役所	50人
R2. 11. 24	J A あいち三河幸田憩いの農園	8人



「あいちの豚肉消費拡大」
応援グッズ



食品表示研修会
(岡崎市額田センター)

イ 環境に配慮した取組の推進

愛知県では、G A P (Good Agricultural Practice : 農業生産工程管理) を安全安心な農産物の供給を行う上で重要な取組と位置づけ、推進してきました。

平成30年度から愛知県G A P 認証制度が始まり、農業者等が愛知県G A P 認証基準に沿って、食品安全、環境保全、労働安全等のために必要な取組を実施していることを、県が確認し認証します。愛知県G A P 認証を取得することで、G A P の取組に対する社会的信用を得られるとともに、認証取得にあたり専門の指導員による指導を受けることで、生産工程のリスク対策が向上し、農業経営の改善につながります。また、本認証の取得は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の食材供給の条件となります。

管内では普及指導員の指導の下、米で3農場と1生産集団(10農家)、果樹で7農場、茶で1生産者集団(62農家)が認証を取得しました。愛知県G A P 以外にも、管内ではJ G A P で15農場、アジアG A P で2農場、グローバルG A P で1農場が認証を受けています。



G A P 米と受託部県GAPの会メンバー



西尾茶愛知県GAPの会 現地確認

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

ア 農林水産業の関心と理解を深める取組の推進

管内の生産者や地産地消を実践する流通事業者、飲食店、消費者団体に対し、「いいともあいち運動」ネットワーク会員への加入を働きかけ、新たに5者の事業者が加入しました。



ふるさと創造舎
「千万町・木下ふるさと米ミネアサヒ」
いいともあいちシンボルマーク入り

イ 幅広い世代に対する農林水産業体験の機会の提供

J A西三河は、地域の農業者、地域住民、PTAの協力を得て、西尾市内小学校の5年生及び特別支援学級を対象とした米作り体験を実施しています。

市内18校の児童1,121名を対象に、田植え、案山子づくり、稲刈り、収穫祭と年間を通して米作り体験を行い、農業に対する理解を深めることができました。



稲刈り体験
(西尾市立寺津小学校)

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践

ア 若い世代を中心とした生涯にわたる食育の推進

10月14日、西三河総合庁舎において、管内の食育推進ボランティア等を対象に、「西三河地域食育推進ボランティア研修交流会」を開催しました。当日は63名が参加し、岡崎市健康増進課の桑原氏が、「市民みんなで参画『食育で健康～スマートウエルネスシティ～』おかげさ食育やろまいプロジェクト」について、(公財)岡崎市学校給食協会の後藤氏が「給食初！笑顔つなぐ食育活動」について講演を行いました。参加者からは、活発な意見や質問が飛び交い、講師や参加者同士の交流を図ることができました。



西三河地域食育推進ボランティア
研修交流会

イ 食を通じた県産農林水産物や環境への理解と食文化の継承

3月13日に、岡崎げんき館で食文化継承料理講習会が開催されました。オンラインによる味噌作り講習会に19名が参加し、岡崎市の食文化について学ぶ良い機会となりました。



オンラインによる味噌作り講習会
(岡崎市)

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

ア 農山漁村の強靱化に向けた防災・減災対策の推進

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県土や県民の暮らしを守るため、農山漁村地域の防災・減災対策を推進しています。

洪水対策のため基幹的排水機場の更新整備を実施している「たん水防除事業」では、北浜南部2期地区（西尾市）及び荻原地区（西尾市）が完了しました。

これら2地区の受益面積は合計277haで、平成28年度からの累計では685haとなりました。



更新された北浜南部排水機場
北浜南部2期地区（西尾市）

イ 快適な生活環境の確保

農業の振興と農山漁村地域の交通環境の改善・維持を図るため、「経営体育成基盤整備事業」西幡地区（西尾市）では農道舗装工等を実施しています。

また、県営かんがい排水事業等で整備された用水路の上部や排水路の周辺を対象に、農業水利施設の保全管理、景観保全及び親水機能の増進を図るため、「水環境整備事業」中井筋2期地区（碧南市、刈谷市、安城市、高浜市）を実施しています。



傷んだ路面を再舗装した農道
西幡地区（西尾市）



排水路沿いの水辺空間を活用した
遊歩道整備 中井筋2期地区（安城市）

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

ア 多面的機能を適切に発揮させる森林・農地・漁場の保全・整備

「あいち森と緑づくり税」を活用し、林業活動では整備が困難なスギ・ヒノキの人工林を健全に育成するため森林整備(間伐)を行いました。

整備箇所：岡崎市夏山町他、幸田町大字荻他。

合計 116.15 ha



あいち森と緑づくり森林整備事業
(人工林) (岡崎市夏山町)

イ 地域で取り組む森林・農地・漁場の保全活動の推進

農地や農業用施設の良い保全や農村環境の保全を図るため、地域ぐるみで様々な活動を行っている管内93組織に対し「農業農村多面的機能支払事業」により支援を行っている。

毎年、愛知県が主催する「農地・水・環境のつどい」において、令和2年度には西尾市の「新田広域協定運営委員会」がその優れた取り組みを評価され、『愛知県知事賞』を受賞しました。



小学生との生き物調査
(新田広域協定運営委員会)

* 受賞のポイント :

地域の子供からお年寄り、農家から非農家までが一体となり外来種(ジャンボタニシ)駆除活動や生き物調査を継続的に実施することにより、生態系保全に寄与しているとともに、地域住民同士のふれあいが深まり、農村環境保全活動への理解促進が図られている。

干潟・藻場を保全するための活動組織である西尾市の「幡豆地区干潟・藻場を保全する会」が実施した、アマモ場保全のためのアマモ種子採取・選別・播種等の活動を指導・支援しました。

また、西三河地区では平成28年に設立された「一色干潟保全会」が実施する有害生物駆除等の保全活動を指導しました。岡崎市男川地区では、「男川クリーンアップ隊」が実施する河川清掃等の生物環境保全活動を支援しました。



アマモ場を保全するため、天然のアマモから種子を採取し、播種を行う

(3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり

ア 地域の特性を生かした農山漁村の活性化

地域ぐるみの計画的かつ総合的な活動により、野生鳥獣による農作物等への被害を防止するために、鳥獣被害対策実施隊の活動や、防護柵、捕獲檻・わな等の設置を支援しました。

また、愛知県産の農林水産物等を活用し、食や花をテーマとして地域活性化などに取り組む地域を「食と花の街道」として認定し、魅力の情報発信と都市農村交流の促進を図っています。

令和2年度には、岡崎市額田地区で「東海道中膝栗毛」にも登場した男川の新鮮な鮎とブランド米「ミネアサヒ」を使用し、炊き込みごはんや鮎のフライなど、こだわりの「鮎めし」を提供する飲食店を結ぶ「おかざき鮎めし街道」と岡崎市内で「カレーの餡または、パン生地におかざきの食材を使用していること」を定義とした個性豊かな「おかざきカレーパン」を味わえる店舗を結ぶ「おかざきカレーパン街道」の2つが認定を受けました。



防護柵（岡崎市）



鮎めし定食

〈管内の「食と花の街道」認定状況〉

認定年度	街道の名称	活動地域
H28	西尾の抹茶街道	西尾市
H30	おかざきかき氷街道	岡崎市
	三河屋街道	西尾市
R2	おかざき鮎めし街道	岡崎市
	おかざきカレーパン街道	岡崎市

※令和2年度末で県内では17街道



グランプリ受賞のカレーパン

Ⅲ 西三河地域重点プロジェクト

1 西三河地域産地活性化・担い手確保育成プロジェクト

西三河地域では、平成28年度にJAあいち中央の「なし」、JA西三河の「いちじく」、JAあいち三河の「いちご」の、3件のプロジェクトチーム（PT）が立ち上がりました。

29年度以降は、JA西三河の「いちご」など10件のPTが発足し、計13件のPTにおいて、それぞれ10年後を展望した産地戦略を策定し、取組を進めています。

開始年度	PT名
28年度	JAあいち中央「なし」産地活性化・担い手確保育成PT
	JA西三河いちじく産地振興会議
	JAあいち三河「いちご」産地活性化PT
29年度	JA西三河いちご産地振興委員会
	西尾市てん茶産地戦略実証協議会
30年度	JAあいち中央胡瓜産地活性化PT
	JAあいち中央碧南露地野菜産地振興協議会
	JAあいち中央トマト部会
	JAあいち中央菊共撰組合
	JA西三河きゅうり次世代創生プロジェクト
	JA西三河デルフィニウム部会
	JAあいち三河促成なす産地活性化PT
	JAあいち三河夏秋なす産地活性化PT

このうち、「農業生産力パワーアッププロジェクト推進事業」の後継である「農業生産力強化支援事業(地方創生推進交付金事業)」を活用した4つのPTの主な取組について紹介します。

事業名	事業内容	PT
農業生産力強化支援事業	あいち農業高度化プランナー派遣事業	JAあいち中央「なし」産地活性化・担い手確保育成PT
		JA西三河きゅうり次世代創生プロジェクト
		JA西三河いちご産地振興委員会
	産地戦略実証事業	JA西三河きゅうり次世代創生プロジェクト
		JA西三河いちご産地振興委員会
		JAあいち三河「いちご」産地活性化PT

【JA あいち中央「なし」産地活性化・担い手確保育成PT】

- めざす姿
～ブランド力強化と園地継承システムによる安城梨の振興～
- 主な取組
あいち農業高度化プランナー派遣事業を活用して、「甘ひびき」のブランド化を軸とした産地競争力向上」について、「甘ひびき」の品質、ブランド化の現状を分析し、ブランド化のための中期計画ロードマップを作成しました。
また、園地継承に関する生産者へのアンケート及び面談により意向を把握するとともに、里親制度を検討しました。



梨品種「甘ひびき」

【JA 西三河きゅうり次世代創生プロジェクト】

- めざす姿
～農業ICTの高度利用と経営の高度化～
- 主な取組
産地戦略実証事業を活用して、「養液栽培技術の活用によるきゅうり生産周年化に向けた栽培実証」について10m長養液栽培ベンチを設置し、培地や品種条件を変えて、きゅうりの養液栽培試験を行いました。
現地指導会を行い、各生産者圃場を巡回して、初期生育や栽培状況の聞き取り等により調査結果を取りまとめました。また、取組課題や栽培状況を報告し合い、意見交換を行いました。このほか、セミナー「スマートグリーンハウスの指導者育成研修2020」に参加し、部会内で内容を共有しました。



培地の養液栽培試験

【JA 西三河いちご産地振興委員会】

- めざす姿
～新規参入者の育成とICT技術の活用による産地の維持拡大～
- 主な取組
産地戦略実証事業を活用し、「アザミウマ類の天敵農薬による防除方法の確立に向けた実証」を行い、天敵農薬のいちごの株への定着を確認しました。
また、高設栽培の適正な灌水管理をするためにあぐりログオプションの排水センサーを導入し、ハウス内環境及び排水量のモニタリングを行いました。ハウスで最適な灌水を行うことができ、収量増収につながりました。



アザミウマ天敵農薬

【JA あいち三河「いちご」産地活性化PT】

○ めざす姿

～多様な経営形態の導入によるいちご産地の活性化～

○ 主な取組

産地戦略実証事業を活用し、「いちご生産団地建設に向けた水源分析及び生産者の意向調査」について、9か所の原水採取及び生産者の将来の経営意向調査を行いました。

時代を拓く園芸づくり支援事業を活用して、岡崎竜泉寺町地区にいちごの生産施設を建設し、新規就農者及び規模拡大生産者が栽培を開始しました。



岡崎竜泉寺地区の新規就農者

【フォローアップ会議】

- 3月9日にPT関係者、市町及び県によるフォローアップ会議を開催し、各PT間の情報共有や連携強化を図りました。



フォローアップ会議

2 西三河農山漁村地域の防災・減災対策プロジェクト

気候変動の影響や南海トラフ地震等による災害発生リスクが高まっており、三河湾を擁する西三河地域は、高潮や液状化等による甚大な被害が想定されます。

このため、農業用ため池の決壊や斜面崩壊の防止対策、低平地における排水能力の強化、漁港の防災機能の強化、海岸保全施設等の耐震化が課題となっています。

このことから、農林漁業の主産地を抱える西三河地域の土地基盤の強靱化を図るため、農業用ため池や排水機場等の農業水利施設、治山施設、漁港施設、海岸保全施設の整備や耐震化等を推進し、安全で安心できる豊かな暮らしの実現をめざします。

主な取組は以下のとおりです。

【防災・減災機能の向上（耐震化等の推進）】

- ・ため池の決壊防止のための耐震化を推進しました。
- ・計画的な排水機場の整備・更新を推進しました。
- ・森林や山間集落などを山地災害から守るため、治山施設の整備を推進しました。
- ・漁港施設の耐震・対津波化を推進しました。
- ・津波、高潮等から背後地を守る海岸保全施設の耐震化を推進しました。

【ソフト対策の充実】

- ・防災重点ため池を対象に ため池が決壊した場合を想定した「ハザードマップ」を関係市町と協力して作成し、関係市町がホームページなどで一般に公表しています。
- ・排水機の維持管理に対する支援を行いました。



取組の事例

○ ため池の耐震化

大規模地震時の安定性が不足している農業用ため池に対し、決壊による被害を防止するため、「防災ダム事業」により耐震化を進めています。



堤体耐震補強（石塚池：幸田町）

○ 計画的な排水機場の整備

たん水被害を未然に防ぐため、刈谷市、西尾市、幸田町において、農業用排水機場の耐震化や更新整備を計画的に進めています。



除塵機設備（前新田排水機場：刈谷市）

○ 治山施設の整備

森林において、荒廃するおそれのある溪流には治山ダムや流路工など、山腹崩壊のおそれがある斜面には土留工や法枠工などの治山施設を設置し、山地災害に対する防災機能の向上を図っています。



簡易法枠工（岡崎市）

○ 海岸保全施設の耐震化

地震発生時の津波や高潮等による被害から沿岸域（背後地）を守るため、「海岸整備事業」等により、海岸堤防の耐震化を進めています。



堤防耐震補強（碧南海岸：碧南市）

「食と緑の基本計画 2020 西三河地域推進プラン」の 取組目標に対する達成状況

1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

(1) あいちの強みを生かした技術による品質や生産性の向上

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・ICT、環境制御などの新たなイノベーションを利用する産地の支援 5年間3産地	目標値	3産地					
	年度末実績値	6	9	9	9	9	300.0

(2) マーケットインの視点に立った生産・流通の改善と需要の拡大

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・産地戦略の構築 5年間3産地	目標値	3産地					
	年度末実績値	3	5	13	13	13	433.3
・生産・出荷施設の高度化・効率化支援 5年間2件	目標値	2件					
	年度末実績値	2	4	6	7	10	500.0
・6次産業化に取り組む農林漁業者・団体等の支援 5年間5件	目標値	1	2	3	4	5	
	年度末実績値	5	6	15	19	20	400.0

(3) 意欲ある人が活躍できる農業の実現

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・担い手への農地集積面積 10,000ha	目標値	8,855	9,055	9,370	9,685	10,000	
	年度末実績値	8,716	8,949	9,148	9,322	9,374	93.7

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率(%)
・新規就農者の確保 34人/年	目標値	34	68	102	136	170	
	年度末実績値	37	75	119	161	194	114.1
・農業生産基盤整備及び農業水利施設等の整備更新 受益面積4,320ha	目標値	914	1,836	3,273	4,320	4,320	
	年度末実績値	914	2,144	3,285	3,662	4,340	100.5

(4) 資源を生かす林業の実現

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率(%)
・県産木材生産量 12,000m ³	目標値	9,600	10,200	10,800	11,400	12,000	
	年末実績値	10,587	9,892	10,829	12,175	7,594	63.3

*年次集計のため、実績値は、各年度12月末現在の数値

(5) 持続可能で活力ある水産業の実現

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率(%)
・あさり等海産種 苗の放流 7種	目標値	7	7	7	7	7	
	年度末実績値	7	7	7	7	7	100.0

(6) 食品の安全・安心の確保と環境への配慮

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率(%)
・食品表示の遵守 状況調査計画実施 率 年間100%	目標値	100	100	100	100	100	
	年度末実績値	100	101	101	120	100	100.0
・エコファーマー 延べ認定者数 1,365人	目標値	1,361	1,362	1,363	1,364	1,365	
	年度末実績値	1,365	1,403	1,448	1,449	1,449	106.2

2 農林水産業への理解促進と食料等の適切な消費の実践

(1) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・「いいともあい ち運動」ネットワ ーク会員数 5年間25件	目標値	5	10	15	20	25	
	年度末 実績値	11	20	39	44	50	200.0

(2) 食育の推進による健全な食生活の実践

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・食育推進ボラン ティア交流会の開 催 2回/年	目標値	2	4	6	8	10	
	年度末 実績値	2	4	6	8	9	90.0

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

(1) 災害に強く安全で快適な生活環境の確保

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・農業用排水機 場、排水路、ため 池の耐震化 受益面積560ha	目標値	103	175	311	311	560	
	年度末 実績値	187	305	320	408	685	122.3

(2) 森林・農地・漁場の有する多面的機能の発揮

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・農地、漁場の多 面的機能の保全に 係る取組への支援 90(統合前 109)組織(農 地)	目標値	109	90 (109)	90 (109)	90 (109)	90 (109)	
	年度末 実績値	109	93	93	93	93	103.3

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・農地、漁場の多面的機能の保全に係る取組への支援 2地区（漁場）	目標値	2	2	2	2	2	
	年度末実績値	3	3	3	3	3	150.0
・里山林の保全活動面積 15ha	目標値	6.0	8.0	10.0	13.0	15.0	
	年度末実績値	7.83	7.83	11.38	13.78	16.98	113.2

*・農地、漁場の多面的機能の保全に係る取組への支援は、農地と漁場の2つで1つの目標

(3) 農林水産業を核とした元気な地域づくり

取組目標	項目	2016	2017	2018	2019	2020	達成率 (%)
・鳥獣被害対策実施隊等のリーダーの育成数 122名から11名増	目標値	3名増	5名増	7名増	9名増	11名増	
	年度末実績値	13名増	17名増	17名増	12名増	24名増	218.2
・産直施設の年間利用者数 5年間5%増 (2015年967万人)	目標値	976	986	995	1,005	1,015	
	年度末実績値	-	1,093	-	1,066	-	-

*実績の調査が、隔年で実施されるため2020年度の実績値は不明

2021年3月末時点	目標達成	14
(令和3年3月末)	未達成	3
	実績値不明	1

※3(2)は2つで1つ（農地、漁場）



食と緑の西三河地域レポート 2021

—食と緑が支える豊かな暮らしをめざして—

2021年7月発行

愛知県西三河農林水産事務所
岡崎市明大寺本町1-4
電話 0564-23-1211 内線 2436 (農政課)
電子メール nishimikawa-nourin@pref.aichi.lg.jp



西三河農林水産事務所